

保険は安心して生活するために生まれた素晴らしい仕組みですが、実はかなり長い歴史があることをご存じですか？

世界最古の形態は、紀元前 3000 年頃のパバロニアで見られました。商人たちは、船が沈没したり、盗賊等に襲われたりした場合に備え、共同で資金を出し合うことでリスクを分散していました。



その後、古代ギリシャやローマでも保険の概念が発展し、特に海上保険が重要な役割を果たしました。中世ヨーロッパでは、ギルドがメンバーのために保険制度を提供したことにより、近代的な保険の基礎が築かれました。

現代の保険制度は、17 世紀のイギリスで発展したもので、特にロンドンのロイズが有名です。ロイズは、海上保険を中心に多くの保険契約を取り扱い、現在の保険業界の基盤を築きました。



日本における保険の歴史は、明治時代に始まりました。1867 年、あの福沢諭吉先生が著書の中でヨーロッパの近代的保険制度を紹介したことがきっかけです。その後、1880 年に日本最古の生命保険会社が設立されました。

初期の保険は、海上保険や火災保険が中心でしたが、次第に生命保険も普及していきました。

特に日清戦争や日露戦争の際には、多くの兵士の遺族に保険金が支払われ、一般の理解が深まりました。

その後、社会の変化に応じて、生まれた様々なリスクに対応できるよう自動車保険や賠償責任保険、医療保険やがん保険など、様々な種類の保険が登場し現在では数多くの保険が提供されています。

たくさんの保険がある中で、本当に自分に適した保険を選んでいるのか・・・？

悩む前に、まずは当社にご相談ください。

